



私たちは、市民の健康を守り、地域医療に貢献します

SMILE!



令和6年1月11日(木)に能登半島へ
当院のDMAT隊(災害派遣医療チーム)を派遣しました。

撮影場所:平塚市民病院

特集 hinotori™導入から1年 今後の新たな治療展開

①②

看護のこころ Vol.17 当院の認定看護師を紹介します

③④

職場紹介 栄養科

⑤

健康スマイルレシピ Vol.12

⑥

院外環境が向上しました

⑦

お知らせ 市民健康講座開催

⑦

入館開始時間変更

4月1日から、院内への入館開始時間を7時30分に変更します。

手術支援ロボット「hinot ori™」導入から1年

2022年10月導入から現在、今後の新たな治療展開

私たちに
お任せください



ロボット支援下手術の特徴

ロボットによる手術（ロボット支援下手術）は、ロボットが自動で手術を行ってくれるわけではありません。手術を執刀する医師（執刀医）が、何本かあるロボットのアームを操作して手術を行うものです。そのメリットは、ロボットのアームの関節は人間の手首の関節よりも多く、人間の手では不可能な動きが可能なおうえ、ロボットのアシストにより手ぶれが補正された繊細な手術操作が可能となることです。また、体の奥底であっても、内視鏡カメラで拡大された鮮明な3D画像で見ることができます。結果として従来の腹腔鏡手術よりも手術中の出血や手術後の痛みが少なくなり、患者さんにとってもより負担の少ない手術となることが期待されています。



- ・創口（傷口）が小さく、出血が少ない
- ・術後の痛みが少なく、回復が早い
- ・機能温存の可能性が高い
- ・最大15倍まで拡大可能な高精細3次元画像
- ・手振れのない精密な操作が可能
- ・ロボットのアップデートが定期的に行われ、機能が向上していく

泌尿器科



泌尿器科におけるロボット支援下手術は、2022年（令和4年）10月から、前立腺がんに対する「前立腺全摘除術」を開始しました。2023年（令和5年）3月からは、骨盤臓器脱に対する「仙骨隆固定術」を開始し、2023年（令和5年）12月までに合計65件のロボット支援下手術を行いました。

ロボット支援下手術を行った全ての患者さんにおいて、大きな合併症もなく、輸血を行った患者さんもいません。手術の翌日には歩行ことができ、食事も可能です。創（傷）も小さいので抜糸の必要もありませんでした。

このように、治療効果も高く、ロボットの利点を最大限に活かした低侵襲、高精度で安全な手術を行えるようになってきました。ロボット支援下手術は、患者さんと執刀医の双方に大きなメリットのある手術だと実感しています。

消化器外科

消化器外科では、食道・胃・大腸・肝臓・胆嚢・膵臓たんのうなどの消化器疾患に対して、専門医が中心となり手術治療を行っています。

現在の手術の特徴

近年では、手術による肉体への影響を最小限にとどめるため、低侵襲（傷が小さい）手術として腹腔鏡を用いた手術（腹腔鏡手術）を積極的に行ってまいりました。腹腔鏡手術は開腹手術よりも技術的に難しく、専門の認定を受けた医師（日本内視鏡外科学会の技術認定医）が中心となり行っています。



今後の取り組み

現在は、腎がん、腎盂尿管がん、膀胱がんに対する手術は腹腔鏡手術にて行っていますが、準備が整い次第、ロボット支援下手術に移行していきます。



泌尿器科について詳しくは、病院ホームページをご覧ください。



今後の手術の展開

消化器外科においても、半年以上の準備やトレーニングを行ったのち、2023年（令和5年）11月に1例目のロボット支援下手術（直腸がんに対するロボット支援腹腔鏡下直腸切除術）を実施しました。今後は、直腸がんの患者さんに加え、食道がん、膵臓がんの患者さんにも実施できるよう、準備・トレーニングを行っています。



消化器外科について詳しくは、病院ホームページをご覧ください。





当院の認定看護師を紹介します

当院では、1名の専門看護師と13分野20名の認定看護師が患者さんに寄り添いながら力を発揮しています。今回は、専門看護師と5分野7名の認定看護師を紹介します。

※認定看護師・専門看護師とは、日本看護協会による認定資格で、特定の教育を受け、その分野において熟練した看護技術と知識を有することが認められた看護師のことです。

透析看護認定看護師



その人らしい生活を目指して

2021年度日本透析医学会の慢性透析療法の現状によると、国民の約35万人（約360人に1人）が透析療法を受けており、腎臓病や腎代替療法に対する正しい理解、療養が必要な状況です。透析看護認定看護師は、「その人らしい生活を目指して」をテーマに多職種と連携、協働し、腎臓病患者さんとご家族への看護を専門的に提供しています。具体的には、早期（CKDstageG4）から腎臓や腎臓病、腎代替療法の知識を分かりやすく情報提供し、個性を重視した生活でより実践可能なセルフケアを提案します。また、共に考え、悩み、その人らしい腎代替療法の選択、準備、導入を支援しています。

感染管理認定看護師



「感染に強い地域」を目指して

感染管理認定看護師とは、スタッフや患者さんを感染から守るため、感染に関する専門知識と技術を備えて活動する看護師です。受診される方が、安心して過ごせる医療環境を提供するため、スタッフひとりひとりが確実に感染対策を実施できる体制を整備しています。

特に、感染対策の基本「手をきれいにすること」に力を入れています。また、多職種による協働体制と地域医療機関との連携を強めることで「感染に強い地域」を目指しています。

穏やかで安心な日常生活のために

緩和ケアに対し、多くの方はがんなどの終末期に行なわれるものとイメージされているのではないのでしょうか。しかし、患者さんやご家族の中には、病気の診断時よりつらい気持ちや痛みなどの症状を持っている方もいらっしゃいます。また、治療を行なう過程でもつらい症状や様々な事情により、日常生活へ影響が生じることもあります。少しでも多くの患者さんとご家族が穏やかな日常生活を送れるよう専門の職種と連携し、より良い支援方法を提案しています。病気を抱えていても患者さんとご家族が地域で安心して暮らしていただけるよう、地域の医療従事者との研修や話し合う機会を大切に、連携しています。

緩和ケア看護認定看護師



新しい家族の始まりの時期をサポートさせていただきます

新生児集中ケア認定看護師は、早産や低出生体重、治療を必要とする赤ちゃんとそのご家族のサポートをしています。私たちは、平塚・大磯・二宮地区において唯一の分娩可能な病院として、新生児に対する治療と看護を提供するため、身体的ケアや母乳育児支援・退院指導などを行っています。赤ちゃんの成長発達と新しいご家族の始まりの時期を支えていけるように行政と連携し、「ご家族に参加いただける治療と育児の場」であることを大切に活動しています。

新生児集中ケア認定看護師



摂食・嚥下障害看護認定看護師



食べるを支える

摂食・嚥下障害とは、食べることや飲み込むことが難しくなることを言います。原因は様々ですが疾患や加齢による影響により食べるのが困難になっている方も多くいます。そのような方の「食べる！食べたい！」を支えることが摂食・嚥下障害看護認定看護師の役割です。リハビリテーション科や栄養科と協力し、嚥下機能の回復を図りその人に合った食形態に調整して、安心して食事を食べていただけるよう努力しています。

リエゾン精神看護専門看護師



心に寄り添う看護

リエゾン精神看護は、身体と心をつなぎ、健康を取り戻すお手伝いをする分野です。主に総合病院において身体のご病気のある方々が抱える心の不調に対するケアの提案・提供、医療従事者のメンタルヘルス支援という役割があります。

思わぬ病気やけがによって衝撃を受け、心身の変化に直面することはどなたにとっても辛いことです。心の辛さを少しでも軽くし、ご自身らしい生活が一日でも早く取り戻せるよう支援しています。

詳しい活動や採用情報は看護部ホームページへ

平塚市民病院 看護部

検索



次回以降では…

他分野の認定看護師を紹介します。お楽しみに!!

こんにちは、栄養科です！

今回は、病院の厨房で食事を作る様子をご紹介します。厨房では、このように入院患者さんに合わせた噛みやすさ、飲み込みやすさに配慮した献立で食事を作っています。

1 準備



←食材は食べやすさに配慮して切ります



←調味料をその日の人数に合わせて計算します

3 盛り付け



←衛生管理上、手袋は食品と見分けがつく青色を使用します

一人分ずつ計量しています →



噛みやすさ、飲み込みやすさに配慮した様々な種類のハンバーグがあります

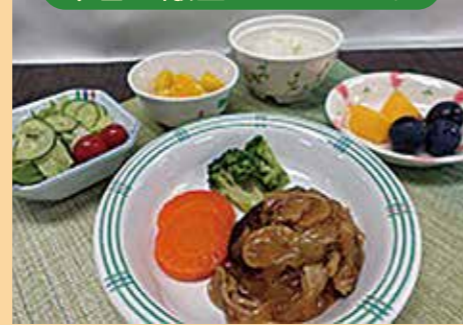


ソフト食のハンバーグ



ペースト食のハンバーグ

本日の献立 ハンバーグ



2 調理



←中まで加熱されているかきちんと温度を測ります



←ハンバーグは表面を焼いてからオープンに入れます



4 配膳

ベルトコンベアの上を流れるトレーに順番に料理を乗せ、最後に正しくセットされているか確認し、専用の車に乗せて適温で病棟に届けます ↓



最終確認後 →
温度管理ができる配膳専用の車に乗せて →



←病棟にお届けします

栄養科について詳しくは当院HPもご覧ください！



寒い時期ですね。「冷え」は万病のもとと言われています。冷え性対策をしっかりと行い、寒い冬を元気に過ごしましょう！

そんな季節にぴったりの体を温めてくれる食材とレシピを紹介します。

体を温める食材

冬が旬の野菜・果物

冷え性改善や粘膜保護、免疫力を向上させるビタミン等の成分が多く含まれます。



薬味・香辛料

辛み成分ショウガオール、アリシン、カプサイシンは代謝をアップさせ、血行や発汗を促します。



発酵食品

代謝を促し、体温を上げる作用があります。



豚肉と野菜たっぷり豆乳スープ

お料理レシピ

材料（2人分）

豚ロース薄切り	150g
白菜	100g
人参	40g
玉ねぎ	100g
しめじ	40g
無調整豆乳	200cc
水	160cc
(A) 和風粉末だし	小さじ3
(A) みそ	小さじ2
(A) すりおろし生姜	小さじ1
サラダ油	小さじ2

エネルギー：250kcal 塩分2.5g（1人分）

- ①人参は千切り、玉ねぎは薄切り、白菜は2cm幅に切る
- ②豚肉は3cm幅に切る。
- ③鍋にサラダ油を熱し、人参・玉ねぎを入れて中火で炒める。しんなりしてきたら、豚肉、しめじ、白菜を入れさらに炒める。
- ④ボウルに(A)を入れ混ぜ合わせ、水を加え③に入れ弱火で5分煮る。
- ⑤豆乳を加えて沸騰しないように温める（沸騰するとダメになるので注意してね）。



院外環境が向上しました! 救命救急センター看板を設置

昨年度設置した「平塚市民病院」の屋上看板に続き、今年度は「救命救急センター」の看板を設置しました。救命救急センターの場所が分かりにくいとのご意見をいただくこともあり、新館3階西側の外壁面に内照式の看板を設置し、夜間でも救命救急センターの場所が一目で分かるようにしました。今後も院内外の療養環境の向上に努めていきます。



お知らせ

市民健康講座を開催します

3月9日(土) にひらしん平塚文化芸術ホールにて「気をつけたい心臓の病気」と題した講座を開催します。
3月6日(水) まで申込みを受け付けます。

お申込みはこちらから➡



地図・交通アクセス

【路線バスをご利用の方】

- JR東海道線 平塚駅北口からバスで15分
平21、22、26、77金田公民館行き、市民病院行き、市民病院経由東海大学行き、市民病院経由高村団地行き
「市民病院前」下車 運賃:現金、ICカード240円
- 伊勢原方面から平塚駅行「中原下宿」バス停下車、ヘルシーロード徒歩約20分
- 秦野方面から平塚駅行「南原」バス停下車、徒歩約10分

【シャトルバス】

- 市内神田地区から市民病院へ便利なシャトルバスも運行しています。
[運行日] 市民病院外来診療日
[運休日] 土曜日、日曜日、祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)
[運賃] 大人…1乗車260円
小学生、割引運賃適用者(※)…130円
未就学児…無料
現金 前払い(回数券、ICカードは使えません。)
※身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの方と、その介護者の方

【車をご利用の方】

- 午前は、大変混雑しますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- 信号「平塚市民病院入口」から進入してください。
- 外来駐車場(有料)
[利用時間] 午前7時00分～午後7時30分
[料金] 外来患者…入場後30分無料、同90分100円、以降すべて200円
一般…入場後30分無料、同90分100円、以降1時間ごとに100円加算(面会含む)
交通系電子マネーでの支払いが可能です。



Hiratsuka City Hospital
平塚市民病院

〒254-0065 神奈川県平塚市南原1-19-1
TEL : 0463-32-0015 FAX : 0463-31-2847
URL : <https://www.hiratsuka-city-hospital.jp/>

初診受付時間：午前8:30～11:00(初診及び予約外の方)
休診日：土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12月29日～1月3日)

救命救急センター 災害拠点病院 地域医療支援病院
神奈川県がん診療連携指定病院

